

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公開番号】特開2014-49600(P2014-49600A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-191162(P2012-191162)

【国際特許分類】

H 01 G 4/33 (2006.01)

【F I】

H 01 G 4/06 102

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月4日(2015.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の面と、前記第1の面と反対側の第2の面を備える誘電体層と、  
前記第1の面と前記第2面に連通し、内壁に段差を有する第1の貫通孔と、  
前記第1の面と前記第2面に連通する第2の貫通孔と、

前記第1の面に形成された第1の外部電極層と、

前記第2の面に形成された第2の外部電極層と、

前記第1の貫通孔内に形成され、前記第1の外部電極層に接続し前記第2の外部電極層  
と離間する第1の内部電極と、

前記第2の貫通孔内に形成され、前記第2の外部電極層に接続し前記第1の外部電極層  
と離間する第2の内部電極と

を具備するコンデンサ。

【請求項2】

請求項1に記載のコンデンサであって、

前記第2の貫通孔は、内壁に段差を有する  
コンデンサ。

【請求項3】

請求項2に記載のコンデンサであって、

前記第1の貫通孔は、内壁に2段階の段差を有し、  
前記第2の貫通孔は、内壁に2段階の段差を有する  
コンデンサ。

【請求項4】

請求項1に記載のコンデンサであって、

前記誘電体層は、陽極酸化作用によって貫通孔を生じる材料からなる  
コンデンサ。

【請求項5】

請求項4に記載のコンデンサであって、

前記誘電体層は、酸化アルミニウムからなる  
コンデンサ。